
○議長（稲葉昭宏君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（午前10時55分）

◎議案第67号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（稲葉昭宏君） 日程第2、議案第67号 平成27年度松崎町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定についての件を議題といたします。

議案の朗読は省略して、提出者から提案理由の説明を求めます。

○町長（齋藤文彦君） 議案第67号は、平成27年度松崎町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定についてであります。

詳細は担当課長をして説明します。

（健康福祉課長 馬場順三君 提案理由説明）

○議長（稲葉昭宏君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。

質疑を許します。

○1番（伴 高志君） この決算書の16ページ、17ページの国民健康保険税、1款1項、この収入未済額、不納欠損額と・・・、この人数と世帯数をいま説明いただいたんですけども、収入未済額が204名で間違いないですね。

（馬場課長「204世帯です」と呼ぶ）

○1番（伴 高志君） ごめんなさい。204世帯ですね。そうすると、これは人数にするとまず何名ですか。

○健康福祉課長（馬場順三君） これは世帯数でカウントしておりまして、人数では内訳は現在出ませんが・・・。

○1番（伴 高志君） ですから、結構この・・・、合計すると・・・、5101万円ですか、そのうち不納欠損が1129万円になっていくわけですね。この5100万円も・・・、いずれは不納欠損になっていくんだと思うんですけども、それだけ払わないということと払えないという世帯や人がいると思うんですけども。まず一つ聞きたいのは、この中で減額ですとか免除の対象になるというような、そういう数とか数字はわかりますでしょうか。

○健康福祉課長（馬場順三君） 所得の低い方につきましては、軽減措置がございまして、例えば2割とか5割とか、7割軽減というのがございまして、これは全て集計しますと、27

年度におきましては845世帯が軽減世帯に該当しております。

これは、その前の26年度と比較しますと、26年度が807世帯でございますので、増加傾向にあるという形でございます。

特に27年度につきましては、非常に所得の落ち込みが激しいものがございまして、金額にしますと、前年比で1億1900万円位減となっていて、これに伴いまして所得割の減が、税額にしますと約1100万円位減ってきているという状況がございます。

○1番（伴 高志君） こういう深刻な状況というのも町で把握していく必要があると思うんですけども。特に私から言いたいのは・・・、やっぱり給与所得で収入を得ている方と、そうではなくて国保で払っているという方の・・・、現実では相当違いがあると思いますので。身近にも・・・、国保は高いなという・・・、それで・・・、払わないとどうなるのかということ、本人はわかっていると思うんですけども、結局それが・・・、例えば、いま若いから年金も払わないし、国保も払わないということが・・・、例えばいたとしても・・・、もし万が一何かあった時に、全額負担ということがありますので、そういうのは極力ないようにということは、身近な人であってもそういうことはちゃんと言っていきたいですけども、ですから、こういうところも現実を見ながら・・・、町で具体的にどう対応するかという・・・、これは決算ですから・・・、どういうふうにした方がいいということではないんですけども、そういうところは、ちゃんと認識した方がいいということで質問いたしました。

○議長（稲葉昭宏君） ほかに質疑はありませんか。

○2番（渡辺文彦君） 町は健康診断に割と積極的に取り組んでいるのは評価できるんですけども、相変わらずがんで亡くなる方が多いわけですね、現状としてみれば。この原因をどのように把握していますか。

健康診断で・・・、発見は健康診断である程度できて対処できるんでしょうけれども、元々の発生原因的なものに対する対応もやっぱり考えていかなければいけないんじゃないかなという気もするわけですね。その辺でどのように・・・、松崎にこんなにがんが多いのか、どのように認識していますか。何が原因であるか、その辺の認識ですね。

○健康福祉課長（馬場順三君） これはがんに限定したことでございせんけれども、例えば一般的な高血圧ですとか、そういったものに関しますと、やっぱり塩分の取り過ぎというのが一番の原因になっているようでございまして、町の方でも機会をとらえて、減塩の料理教室ですとか、そういったものの開催に努めているところでございますけれども、今後も機会あるごとにそういったことについては継続をしていきたいと考えております。

- 議長（稲葉昭宏君） ほかに質疑はありませんか。
- 5番（藤井 要君） 22～23になりますけれども。13款になりますけれども、延滞金とかが入ってきておりますように、これは合計で390万円ほどですか、これは何名位が入って、その中で大きな金額があれば・・・、把握している中でお願いします。
- 窓口税務課長（齋藤 聡君） 申し訳ありません。延滞金につきましては、金額としては把握しているんですが、件数ということでは現在把握しておりません。すみません、306件です。大きい金額については、ちょっと不明です。
- 5番（藤井 要君） 今度は、基金の方に1300万円ほど積立ができたわけですがけれども、これは積立のルールみたいなものはあるんですか、これは。割合等・・・。
- 健康福祉課長（馬場順三君） 基金につきましては、直近3か年の保険給付費等の平均額の100分の25まで積み立てるということになっておりますけれども、実際の達成率としましては48.5パーセントというふうになっております。
- 議長（稲葉昭宏君） ほかにありませんか。
(発言する者なし)
- 議長（稲葉昭宏君） ほかに質疑がないようでありますので、質疑を終結したいと思います、これに異議ありませんか。
(「異議なし」と呼ぶ者あり)
- 議長（稲葉昭宏君） 異議なしと認めます。
よって、質疑を終結いたします。
これより討論に入ります。
まず、本案に対する反対討論の発言を許可します。
(発言する者なし)
- 議長（稲葉昭宏君） 反対討論なしと認めます。
次に、本案に対する賛成討論の発言を許します。
(発言する者なし)
- 議長（稲葉昭宏君） 賛成討論なしと認めます。
これをもって討論を終了します。
これより議案第67号 平成27年度松崎町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定についての件を挙手により採決します。
本案は原案のとおり認定することに賛成の諸君の挙手を求めます。

(挙手全員)

○議長（稲葉昭宏君） 挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり認定されました。
